

健都ふくしま実現に向けた健康づくりの 取組に関する提言 (文教福祉常任委員会)

調査の目的

文教福祉常任委員会においては、食生活、運動習慣等を原因とする生活習慣病に起因する急性心筋梗塞や脳梗塞による死亡率が全国でも非常に高い本市の現状を喫緊の課題と捉え、「健都ふくしま実現に向けた健康づくりの取組」に関する調査を行った。

市に対する提言

1 健康意識の啓発について

- (1) 健康無関心層はもとより、健康を意識しながらも健康づくりを実践するきっかけが少ない働き盛り世代への対策も考慮し、ストレス解消による心の健康づくりも含めて、子供から大人まで楽しみながら健康になることを目指した施策、そして、健康づくりを実践する意欲を高めるための付加価値を付けた施策を実施することで、さらなる健康意識の啓発を図るべきである。

2 健康データを活用した健康づくりについて

- (1) 福島県と連携して「福島県版健康データベース」を活用するなど、さらなる健康データの見える化により、具体的な食生活の改善など、科学的根拠に基づく地区ごとの現状分析と健康づくり対策を推進すべきである。

3 健康づくりにおける地域へのアプローチについて

- (1) 現状の推進体制の中において、より幅広く健康づくりに携わる地域のリーダー的人材を育成するとともに、各地区の健康づくり推進組織を基本とした気軽に活動できる組織を市内全地区に早急に構築し、市民の自主的な健康づくりを推進していくべきである。

4 健康づくりのための環境整備について

- (1) 健康という共通したキーワードを基に多様な分野における施策やハード整備等を実施することにより、健康づくりを土台としたまちづくりを推進するとともに、既存の地域資源を活用した健康づくりの実践のきっかけとなる取組を推進していくべきである。